

令和6年度

編入学学生募集要項 入 学 案 内

出願書類受付期間	令和5年11月 6日(月)～11月9日(木)
学 力 検 査	令和5年11月25日(土)
追試験(学力検査)	令和5年12月 9日(土)
合 格 者 発 表	令和5年12月 1日(金)
合格者発表(追試験(学力検査))	令和5年12月15日(金)
入学確約書の提出期限	令和5年12月15日(金)
追試験(入学確約書提出期限)	令和6年 1月 5日(金)
入 学 手 続	令和6年 3月19日(火)

※今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合がありますので、随時、本校ホームページの「入試情報」をご確認願います。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校

目 次

令和6年度編入学学生募集要項

1	募集学科及び編入学年次	1
2	出願資格	1
3	志望学科	1
4	出願書類受付	1
5	出願手続	2
6	個人情報の取扱い	2
7	学力検査の出題科目及び配点	3
8	選抜方法	3
9	学力検査の日時及び検査場	4
10	受験上の注意事項	4
11	選抜結果の発表	4
12	追試験の実施	4
13	入学確約書の提出	4
14	入学手続	5
15	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	5
16	災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生 への検定料免除	6

入 学 案 内

1	本校の概要と特色	7
2	教育課程	9
3	入学時に必要な経費	10
4	入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度	10
5	独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度	10
6	高等教育の修学支援新制度	10
7	学生寮	11
8	課外活動	11
9	卒業後の進路	12

令和6年度 編入学学生募集要項

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本校が求める人物像は、次のとおりです。

- ① 技術者になる意欲をもっている人
- ② 理数系の基礎学力が身についている人
- ③ 自立心があり、社会的ルールを守って行動できる人
- ④ 他の人と対話を通して相互理解を深めようとする人

1. 募集学科及び編入学年次

系	学 科	募集人員	編入学年次
機械・電気・ 制御情報系	機 械 工 学 科	各学科 若干名	第4学年
	電気電子工学科		
	制御情報工学科		
化学・材料系	生 物 応 用 化 学 科		
	材 料 シ ス テ ム 工 学 科		

2. 出願資格

編入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(注) 上記(3)により出願する者は、事前に学生課教務係へ問い合わせてください。

3. 志望学科

志望学科は、同一系内の学科から第2志望まで選ぶことができます。

4. 出願書類受付

- (1) 受付期間 令和5年11月6日(月)から令和5年11月9日(木)
- (2) 受付時間 9時から17時まで
- (3) 受付場所 〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

※受付期限を過ぎたものは、一切受け付けません。

(郵送の場合も同期間内に必着のこと。)

5. 出願手続

(1) 志願者は、出願に必要な次の書類等を整え、受付場所に提出してください。

書類等	摘要
1 編入学願書	本校所定の様式に必要事項を記入してください。
2 照合票 受験票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の様式に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼付してください。写真は、出願前3か月以内に撮影した、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）のものを使用してください。
3 入学検定料	16,500円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により、志願者本人の氏名で金融機関窓口から振り込んでください。 振込期間:令和5年11月1日(水)から令和5年11月9日(木) 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振り込み後、本校所定の「振込依頼書」の場合は「振込受付証明書」(学校提出用)、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は「振込払出請求書預金口座振替による振込受付書」(コピー可)を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付してください。 <注意> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の「振込依頼書」を使用することはできません。郵便局（ゆうちょ銀行）専用の「振込依頼書」に記入が必要です。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳と届出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点は、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
4 調査書	在籍（出身）学校所定の用紙により、学校長が作成し厳封したもの
5 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定型封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、404円切手（簡易書留郵便料）を貼付して提出してください。
6 あて名票	諸連絡に使用するもので、正確に記入してください。

(2) 郵送する場合は**書留郵便**とし、封筒表面に「**編入学願書在中**」と**朱書**してください。

6. 個人情報の取扱い

編入学志願者から提出された編入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった編入学者選抜を通じて取得した個人情報は、編入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除又は徴収猶予に係る申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

注 意 事 項

1. 出願書類の不備なものは受け付けません。また、出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
2. 願書提出後は、志望学科及びその他記載事項の変更は認めません。
3. 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
4. 受理した出願書類及び出願書類受理後の検定料は返還しません。
納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複で納付した場合
 上記の場合は、本校学生課教務係へ連絡願います。

7. 学力検査の出題科目及び配点

志望系	志望学科	出題科目(範囲)	配点
機械・電気・ 制御情報系	機械工学科 電気電子工学科 制御情報工学科	数学 { 数学Ⅰ(数と式、図形と計量、二次関数)、数学Ⅱ、数学Ⅲ 数学A(場合の数と確率)、数学B(数列、ベクトル) }	150点
		英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ)	150点
		理科 { 下記の(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)のいずれか 1つを選択 }	200点
		(ア)物 理 (物理基礎、物理) (イ)機械系専門 (機械設計、機械製図、機械工作、原動機) (ウ)電気系専門 (電気基礎、電子基礎、情報基礎) (エ)制御情報系専門 (電気基礎、電子情報技術、ハードウェア技術、アルゴリズムとプログラム)	
合 計			500点
化学・材料系	生物応用化学科 材料システム工学科	数学 { 数学Ⅰ(数と式、図形と計量、二次関数)、数学Ⅱ、数学Ⅲ 数学A(場合の数と確率)、数学B(数列、ベクトル) }	150点
		英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ)	150点
		理科 { 下記の(オ)、(カ)、(キ)、(ク)のいずれか 1つを選択 }	200点
		(オ)化 学 (カ)物 理 (化学基礎、化学) (物理基礎、物理) (キ)化学系専門 (有機化学、分析化学、物理化学、化学工学) (ク)材料系専門 (材料製造技術、工業材料、材料加工)	
合 計			500点

8. 選抜方法

編入学生の選抜は、学力検査、学校長から提出された調査書をもとに総合的に判断します。ただし、3教科の合計点が50% (250点) 以上で、かつ、各教科の得点が40% (数学60点、英語60点、理科80点) 以上の者を合否判定の対象とします。

9. 学力検査の日時及び検査場

期 日	科 目	時 間	検 査 場
令和5年 11月25日(土)	数 学	9時00分～10時30分	久留米工業 高等専門学校
	英 語	10時50分～12時20分	
	理 科	13時10分～15時10分	

※検査当日は、8時40分までに本校学生課前に集合してください。

10. 受験上の注意事項

- (1) 遅刻による検査室への入室限度時刻は検査開始後30分とします。なお、交通機関の事故又はやむを得ない事由により、検査開始後30分以上遅刻した者は、必ず受験予定検査室の監督者に申し出てください。
- (2) 検査時間中の退室は、用便又は発病等やむを得ない場合を除き認めません。
- (3) 受験票を紛失した場合は、検査場で仮受験票の発行を申し出てください。
- (4) 受験票は、必ず机の上に置いてください。
- (5) 受験中は、黒鉛筆・黒シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計(時計機能だけのもの)以外のものは使用できません。
- (6) 携帯電話及びその他通信機器の検査室への持ち込みは認めません。
- (7) 昼食は各自で用意してください。昼食は検査室でとつても差し支えありませんが、ゴミは各自持ち帰ってください。

11. 選抜結果の発表

令和5年12月1日(金) 10時

合格者の受験番号を本校内に掲示します。なお、全受験生に対して、選抜結果通知書を発送します。(電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。)

12. 追試験の実施

所定の期間に出願手続を完了させた者のうち、令和5年11月25日(土)に実施する編入学者選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和5年12月9日(土)に追試験を実施します。

- ア 学校保健安全法施行規則(昭和33年文部省令第18号。)第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
- イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

※上記については、在籍(出身)中学校等の長による証明書を必要とします。

ただし、医療機関による証明でも可能です。

※該当する場合は、令和5年11月25日(土)9時30分までに本校学生課教務係に電話連絡し、速やかに本校所定の「追試験受験申請書」を提出してください。

※追試験受験者の選抜結果の通知は、令和5年12月15日(金)に全受験者に対して、発送します。追試験により合格通知を受けた者は、令和6年1月5日(金)までに、「入学確約書」を必ず提出してください。

13. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和5年12月15日(金)までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして

取り扱います。

【注意】「入学確約書」は最終的に合格者の入学意志を確認するものです。提出後に変更することはできませんので、慎重に意志決定してください。

14. 入学手続

合格者は、令和6年3月19日（火）13時30分から入学手続き及び入学説明会を行いますので、出校してください。なお、当日入学手続きを行わない者は、入学を許可しません。

15. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

久留米工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに久留米高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一个月前にあたる令和5年10月9日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口(担当係名)学生課教務係（電話番号）0942-35-9315・9316

(FAX)0942-35-9319 (MAIL)Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

16. 災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への検定料免除

本人または学資負担者が、災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合または、学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合に検定料が免除される場合がありますので、該当すると思われる場合は、検定料の納付を行う前に本校学生課教務係にお問い合わせください。

(担当係名) 学生課教務係 (電話番号) 0942-35-9315・9316

(MAIL) Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

入学案内

1. 本校の概要と特色

(1) 本校の沿革

本校は、昭和 14 年久留米高等工業学校が設立されたことに始まり、久留米工業専門学校、久留米工業短期大学（昭和 33 年設立）と変遷し、実践的技術者の養成という時代の要請を受けて、昭和 39 年に現在の久留米工業高等専門学校となりました。

平成 5 年 4 月には、九州で最初に専攻科が設置され、優れた教授陣と充実した設備を誇っています。

(2) 教育理念

自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成

(3) 各学科の教育目的・目標

○機械工学科

教育目的

ものづくりの精神を基本とし、機械技術者としての基礎能力や専門技術を修得し、創造性豊かで国際的視野に立った実践的技術者を育成する。

教育目標

機械技術者としての素養を備え、次の専門分野の基礎的な知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・材料強度
- ・機械力学
- ・設計製図
- ・生産加工
- ・制御、情報
- ・熱、流体
- ・機械工学に関連した周辺技術

○電気電子工学科

教育目的

先端技術であるエレクトロニクスと ICT、及びこれらを支える電気エネルギーの専門知識を修得し、高度情報通信社会に貢献できる実践的、創造的電気電子技術者を育成する。

教育目標

電気電子技術者としての素養を備え、次の技術分野に関する専門知識と技術を修得し、それらを総合的に活用できる能力を養成する。

- ・エレクトロニクス
- ・情報通信技術（ICT）
- ・電気エネルギー、パワーエレクトロニクス
- ・電気電子工学に関連した周辺技術

○制御情報工学科

教育目的

制御、情報を中心とした幅広い専門知識を修得し、広い視野と豊かな創造性を備え、さまざまな産業分野において活躍できる実践的能力に優れた技術者を育成する。

教育目標

メカトロニクスや情報の分野で活躍できる技術者になるために必要な次の分野の基礎的な知識、技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・メカトロニクス、コンピュータ制御
- ・情報工学、通信ネットワーク
- ・制御情報工学に関連した周辺技術

○生物応用化学科

教育目的

化学工業、バイオ工業に必要な基礎・専門知識及び技術者素養を修得し、個別の知識を複合化して使いこなし、社会に貢献できる実践的・創造的技術者を育成する。

教育目標

化学工業、バイオ工業に必要な次の専門分野に関する専門知識、豊富な実験技術を修得し、環境に配慮し技術者倫理を守って、それらを課題解決及び企画立案に活用できる能力を養成する。

(両コース共通)

- ・化学、生物の基礎
- ・化学工学、環境工学
- ・情報リテラシー
- ・技術者素養

(応用化学コース)

- ・有機化学、高分子化学
- ・ポリマー工学
- ・機能性有機材料

(生物化学コース)

- ・生物有機化学
- ・バイオプロセス工学
- ・遺伝子・細胞工学

○材料システム工学科

教育目的

ものづくりの基礎となる工業材料の開発・設計・製造から利用、その後の寿命による破壊、リサイクルまでの材料に関する一連の専門知識を身につけ、社会の発展に貢献できる技術者を育成する。

教育目標

金属、セラミックス、高分子材料などに関する次にあげる基礎的な知識や技術を修得し、それらを活用できる能力を養成する。

- ・構造、性質、機能
- ・製造プロセス、加工、リサイクルに関する技術
- ・設計、解析、評価
- ・材料工学に関連した周辺知識

(4) 本校の特色

○恵まれた環境

本校は、久留米市の北西部、小森野にあり交通も西鉄バス、西鉄天神大牟田線、JR 線が通学路線として利用できます。

また、キャンパスは筑後川に面し、東に耳納連山、西に背振・九千部山を望む景勝の地にあります。

○編入生に対する教育課程上の配慮

本校は、昭和 61 年度から編入生を受け入れています。3 年生までの専門科目の対応として、4 年次に編入生用の科目を開講しています。

○卒業後の幅広い進路

本校の卒業生には、準学士の称号が与えられ、進路も企業等への就職、専攻科への進学、大学 3 年次への編入学と大きく開かれています。

本校の専攻科（2 年制）は、機械・電気システム工学専攻（機械工学系・電気電子工学系・制御情報工学系）と物質工学専攻（生物応用化学系・材料工学系）の 2 専攻があります。専攻科を修了し、大学改革支援・学位授与機構の一定の要件を満たせば学士の学位を取得でき、さらに専攻科修了後は、大学院へ進学することもできます。

2. 教育課程

入学後4・5年生で修得できる専門科目は次のとおりです。ただし、今後、変更する場合があります。※は編入生用授業科目

区分	科 目 名				
	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	生物応用化学科	材料システム工学科
必 須 科 目	確率・統計	電気電子工学基礎	制御情報工学概論	生物学2	材料システム工学入門
	応用数学1	電磁気学1	化学実験	基礎無機化学	情報リテラシー
	応用数学2	電磁気学2	応用物理1	酸塩基化学	情報処理1
	応用物理1	電磁気学3	応用物理2	基礎有機化学1	情報処理2
	応用物理2	電気回路1	応用物理実験	基礎有機化学2	応用数学1
	応用物理実験	電気回路2	応用数学1	物理化学1	応用数学2
	化学実験	電気回路3	応用数学2	物理化学2	応用数学3
	機械工学導入セミナー	半導体工学	確率統計	無機化学1	応用物理1
	安全工学と工業倫理	応用物理1	離散数学	無機化学2	応用物理2
	工業英語	応用物理2	信号処理	有機化学1	材料加工実習
	機械工学セミナー	確率統計	情報理論	有機化学2	図学
	図学	応用数学1	工業倫理と安全	高分子化学1	基礎設計製図
	機械製図1	応用数学2	製図	有機金属化学	応用設計製図・CAE
	機械製図2	電気機器工学1	加工実習	有機合成化学	電気電子工学概論
	CAD演習	電気機器工学2	機構学	高分子化学2	機械加工学
	機械製図3	パワーエレクトロニクス	CAD演習	機能有機材料	基礎材料化学
	機械設計製図	高電圧工学	機械工学概論	応用化学実験	セラミックス材料学1
	機械要素設計実験	電力発生工学	電気回路1	ポリマー工学	セラミックス材料学2
	機械設計法1	電力システム	電気回路2	生物有機化学	材料化学1
	機械設計法2	電力応用	電子回路	遺伝子・細胞工学	材料化学2
	機構学	機械工学概論	電磁気学	代謝工学	物理化学1
	工業力学	制御工学	パワーエレクトロニクス	生物工学実験	物理化学2
	機械力学	情報リテラシー	半導体材料工学	バイオ工学	高分子材料学
	材料力学1	プログラミング1	物質工学概論	化学工学1	電気化学1
	材料力学2	プログラミング2	通信工学	化学工学2	電気化学2
	四力学演習	プログラミング3	電子情報実験	機器分析	環境工学
	情報リテラシー	計算機アーキテクチャ	シーケンス制御	工業物理化学1	金属物理学1
	制御情報工学概論	論理回路	計測工学	工業物理化学2	金属物理学2
	制御工学	電子回路	制御工学1	機械工学概論	材料物性学1
	機械加工学	マイコン制御	制御工学2	電気電子工学概論	材料物性学2
	精密加工学	電気電子計測	ロボット工学	基礎溶液化学	材料力学
	品質管理	情報理論	制御工学実験	化学平衡論	塑性加工学
機械加工実習1	情報インフラストラクチャー	情報処理基礎	酵素構造工学	材料組織学	
機械加工実習2	通信ネットワーク	プログラミング1	応用数学	材料強度学	
機械加工実習3	技術社会の安全と倫理	プログラミング2	応用物理1	金属材料学1	
材料システム工学概論	電気施設管理	プログラミング3	応用物理2	金属材料学2	
流体工学	コミュニケーション	オブジェクト指向プログラミング	応用物理実験	融体加工学	
流体機械	システム工学	数値計算法	環境工学	材料評価学	
工業熱力学	電気電子CAD	データ構造とアルゴリズム	情報化学1	工業英語	
伝熱工学	電気電子設計	データベース基礎	情報化学2	安全工学・工業倫理	
機械工学実験	電気電子材料	ソフトウェア工学	化学工学基礎	品質工学	
卒業研究	生物応用化学概論	オペレーティングシステム	情報処理演習	化学実験	
電気電子工学概論	化学実験	コンパイラ	創造化学実験	応用物理実験	
化学工学概論	応用物理実験	電子計算機基礎	分析化学実験	材料システム実験1	
	総合基礎演習	論理回路	基礎生物化学実験	材料システム実験2	
	電気電子演習1	デジタル回路設計	有機化学実験	材料システム実験3	
	電気電子演習2	計算機アーキテクチャ1	生物化学実験	材料システム実験4	
	電気電子演習3	計算機アーキテクチャ2	物化・化工実験	材料システム実験5	
	電気電子実験1	計算機ネットワーク	生物応用化学入門	卒業研究	
	電気電子実験2	情報セキュリティ	品質・安全工学		
	電気電子実験3	データサイエンスと人工知能1	産業財産権・工業倫理		
	卒業研究	データサイエンスと人工知能2	卒業研究		
		創造プログラミング演習	工業英語		
		情報通信実験			
		卒業研究			
選 択 科 目	短期インターンシップ 半導体工学概論1 半導体工学概論2 ※機械工学概論	短期インターンシップ 半導体工学概論1 半導体工学概論2 ※電気電子工学概論	短期インターンシップ 半導体工学概論1 半導体工学概論2 ※制御情報工学基礎A ※制御情報工学基礎B	科学技術史 短期インターンシップ 半導体工学概論1 半導体工学概論2 ※生物応用化学概論	短期インターンシップ半 導体工学概論1 半導体工学概論2 接合工学・複合材料金属 熱処理論 ※材料工学概論

3. 入学時に必要な経費

費 目	金 額	適 用
入 学 料(注1)	84,600 円	(予定額)
授 業 料(注2)	前期分 117,300 円	年額 234,600 円 (予定額)
教科書代等(注3)	約 60,000 円	
その 他 諸 経 費	約 52,000 円	
合 計	約 313,900 円	

(注1) 入学手続後の入学料は返還しません。

(注2) 上記の納付金額は、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

(注3) 教育方法の改善により、教科書代等教材費が増額される場合があります。

(注4) 4年生で国内工場見学旅行を行うので、この学年で別途 11 万円程度が必要となります。

4. 入学料・授業料の免除及び徴収猶予制度

(1) 入学料について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受ける等、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

(2) 授業料について

授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等は、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

5. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、特に優れた学生であって経済的に修学が著しく難しいと認められる人に対して、選考の上、奨学金が給付・貸与されます。

詳細は、日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

6. 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月1日から、高専の4・5年生及び専攻科生が対象となる授業料等減免制度の新設及び給付型奨学金の支給拡充が実施されています。詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」を参照願います。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

7. 学生寮

本校敷地内に寄宿舎があります。

男子寮（4階建）は、1室1名用、2名用と3名用のあわせて141室、収容定員は210名です。また、女子寮（3階建）は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員30名です。

入寮に関しては、選考があります。ご希望に添えない場合もあります。

費 目	月 額	摘 要
寄 宿 料	700 円	1名部屋以外
	800 円	1名部屋
給 食 費	約 30,000 円	朝・昼・夕食付
光熱水料費等	8,000 円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 38,800 円	

(注1) 上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

(注2) 上記の納付金額は、入寮時及び在寮中に改定される場合があります。

8. 課外活動

本校では、勉学はもとより有意義な学生生活を送るため課外活動にも力を入れており、現在のクラブがあります。

体育系クラブ	剣 道 部	文化系クラブ
陸 上 競 技 部	弓 道 部	英 会 話 部
水 泳 部	合 気 道 部	吹 奏 楽 部
バスケットボール部	ハンドボール部	軽 音 楽 研 究 部
バレーボール部	ソフトテニス部	茶 道 部
サ ッ カ ー 部	サイクリング同好会	囲 碁 将 棋 部
ラ グ ビ ー 部	技 術 系 ク ラ ブ	美 術 部
テ ニ ス 部	自 動 車 部	新 聞 文 芸 部
卓 球 部	ロケットコンテスト部	華 道 部
バドミントン部	プログラミングラボ部	写 真 部
硬 式 野 球 部	鳥 部	ピ ア ノ 同 好 会
柔 道 部		ダ ンス 同 好 会

9. 卒業後の進路

(1) 就職

卒業生の主な就職先

機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	生物応用化学科	材料システム工学科
本田技研工業	九州電力	NTTデータ	旭化成	アーレスティー
日産自動車	中部電力	NTTコムウェア	味の素	N O K
S U B A R U	J-POWER	NTT東日本	アステラス製薬	IIIソリューションテクノロジズ
川崎重工業	サントリー	富士通	出光興産	京セラ
東海旅客鉄道	ソニーコンピュータエンタテインメント	日立製作所	A G C	J X 金属
西日本旅客鉄道	J A S M	安川電機	E N E O S	昭栄化学工業
ファナック	コニカミノルタジャパン	トヨタ自動車九州	小川香料	ソニーコンピュータエンタテインメント
安川電機	キヤノンメディカルシステムズ	本田技研工業	花王	TANAKAホールディングス
東京エレクトロン	NTTグループ	九州電力	サントリーグループ	デイスコ
デイスコ	ローム・アポロ	ダイキン	三洋化成工業	東研サーモテック
ソニーエレクトロニクス	富士通グループ	ラック	資生堂	東洋鋼鋳
ニコン	JR西日本	キヤノンメディカルシステムズ	昭栄化学工業	DOMAサーモエンジニアリング
キヤノン	栄電舎	チームラボ	住友精化	日産自動車
セイコーエプソン	J A X A	メンバーズ	第一三共グループ	日本精工
L I X I L	日立オートモティブテクノロジ	三井ハイテック	ダイキン工業	日本タンクステン
トヨタ自動車九州	N H K	ブリヂストンソフトウェア	大日精化工業	日本冶金工業
九電工	国立印刷局	I - P E X	中外製薬	日之出水道機器
日本精工九州	西部ガス	A J S	東レ	三井金属鉱業
西部電機	西部電機	ソニーGM&O	東洋新薬	U B E
昭栄化学工業	住友電設	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム	三井化学分析センター	L I X I L

(2) 進学

本校には、平成5年度に設置された2年制の特例適用専攻科があり、機械・電気システム工学専攻、物質工学専攻の2専攻があります。専攻科は、高等専門学校における教育の上に、高度な研究開発や先端技術分野における先端的な技術を担い、広く産業の発展に寄与できる技術者を育成します。

専攻科修了者は、大学改革支援・学位授与機構の一定の要件を満たせば学士の学位を取得でき、さらに専攻科修了後は、大学院へ進学することもできます。

また、大学の3年次への編入学制度があり、長岡技術科学大学と豊橋技術科学大学をはじめ、国公立大学へ編入学できます。

本校専攻科及び大学編入学合格状況

大学等名		卒業年度			大学等名		卒業年度			
		令和2	令和3	令和4			令和2	令和3	令和4	
国 立	本校専攻科	47	49	54	国 立	岡山大学	1			
	長岡技術科学大学	3	1	5		広島大学		1		
	豊橋技術科学大学	9	9	12		愛媛大学	1		1	
	北海道大学		1			山口大学		1		
	室蘭工業大学		1			九州大学	10	9	6	
	東北大学		1	1		九州工業大学	10	10	7	
	筑波大学	1		3		佐賀大学	6	11	4	
	千葉大学	2	2	2		長崎大学			1	
	東京農工大学	1				熊本大学	5	6	6	
	東京工業大学	3	1	1		鹿児島大学		1		
	新潟大学			1		公立	大阪府立大学	1		1
	富山大学			1		山口東京理科大学		1	1	
	群馬大学			1		下関市立大学		1		
	静岡大学	1	1			私立	東京都市大学		1	
	名古屋大学	1	1			東京理科大学	1	1		
	名古屋工業大学		1			日本大学		1		
	京都大学	1		1		中央大学		1		
	京都工芸繊維大学			1		合計	108	113	111	
	大阪大学	4		1						

・令和元年度以前に合格実績がある上記以外の国立大学等
 岩手大学、秋田大学、茨城大学、山形大学、東京大学、東京海洋大学、お茶の水女子大学、信州大学、埼玉大学、横浜国立大学、山梨大学、宇都宮大学、岐阜大学、福井大学、金沢大学、滋賀大学、奈良女子大学、三重大学、和歌山大学、神戸大学、鳥取大学、島根大学、徳島大学、高知大学、山口大学、長崎大学、長崎総合科学大学、宮崎大学、琉球大学、モンゴル科学技術大学、広島商船高専専攻科 等

受験に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒830-8555
福岡県久留米市小森野一丁目1番1号

電 話 0942-35-9315 (学生課直通)
0942-35-9316 (")

FAX 0942-35-9319

ホームページ <https://www.kurume-nct.ac.jp/>

